

令和 8 年度
当初予算案の概要

令和 8 年 2 月
病院事業局

令和8年度 病院事業局 施策体系

■【病院事業局ミッション】

県民に安心・信頼・高度の医療を提供し、県民医療を守り支える

(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

- 安全で質の高い医療の提供
- 大学、地域の医療機関等との連携の推進
- 働き方改革への対応
- 総合医療情報システムの更新による効率的運用及びデジタル化の推進

(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善

- 医療を支える人材の確保
- 高度・専門医療を担う人材の育成
- 安定した収益の確保及び医業費用の効率化
- 個人医業未収金対策の強化
- 事務部門の強化

(3) 新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組

令和8年度当初予算案 主要事業一覧

部局名：病院事業局

(単位：千円)

番号	項目名	予算額	新規	事業概要
(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供				
1	安全で質の高い医療の提供	1,067,049	○ 一部	○医療機器等の整備 ・中央病院デジタルX線TVシステム更新 等 ○病院の施設、設備の計画的な改修 ・中央病院受変電設備等更新工事 等 ○西村山地域新病院整備工事基本及び実施設計【新規】
2	大学、地域の医療機関等との連携の推進	363,964		○他医療機関や介護保険施設等との連携強化による入退院の支援 ○河北病院地域医療連携ステーションによる在宅医療等の推進
3	働き方改革への対応	21,913	○ 一部	○中央病院におけるスマートフォン活用による病棟業務の効率化【一部新規】 ○離床センサー付き電動ベッドの活用や測定機器の連携による業務の効率化【一部新規】
4	総合医療情報システムの更新による効率的運用及びデジタル化の推進	4,016,352	○ 一部	○中央病院、新庄病院及びこころの医療センターにおける総合医療情報システムの更新【一部新規】 ○中央病院におけるスマートフォン活用による病棟業務の効率化[再掲]
(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善				
5	医療を支える人材の確保	342,708		○人材確保に向けたPR動画の活用 ○医療従事者確保対策 ・臨床研修医の確保対策 等 ○仕事と育児の両立支援 ・中央病院及び新庄病院院内保育所の運営 等
6	高度・専門医療を担う人材の育成	225,000		○医師のスキルアップ研修(学会参加、研究調査) ○認定看護師及び専門看護師の育成 ○医療技術員の専門資格取得促進
7	安定した収益の確保及び医業費用の効率化	25,098	○ 一部	○経営健全化ワーキングチームによる取組みの推進 ○経営コンサルティング業務の効率的活用 ・各県立病院の経営コンサルティング業務の一括化 ・他医療機関との連携推進による材料価格適正化の取組みの実施【一部新規】 等
8	個人医業未収金対策の強化	7,730		○入院時連帯保証人代行制度の運用 ○職員向け未収金対策研修の実施
9	事務部門の強化	470,942	○ 一部	○人材育成方針に基づく病院経営職員の計画的な育成 ・病院経営職員の資格取得支援及び研修の拡充【一部新規】 等
(3) 新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組				
10	新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組	2,899		○感染管理認定看護師等の感染症対応専門人材の育成

令和 8 年度当初予算案 総括表

表 1 業務の予定量

		令和 7 年度当初 (A)	令和 8 年度当初 (B)	前年度対比 (B - A)	前年度対比 (B / A)
入院	年間入院患者延数	367,151人	366,902人	△249人	99.9%
	入院診療日数	365日	365日	0日	100.0%
	一日平均入院患者数	1,005人	1,005人	0人	100.0%
	病床利用率	88.5%	88.5%	0.0p	100.0%
外来	年間外来患者延数	516,634人	506,805人	△9,829人	98.1%
	外来診療日数	244日	242日	△2日	99.2%
	一日平均外来患者数	2,104人	2,075人	△29人	98.6%
ドック利用者延数		1,214人	1,802人	588人	148.4%

表 2 収益的収支予算

		令和 7 年度当初 (A)	令和 8 年度当初 (B)	前年度対比 (B - A)	前年度対比 (B / A)
収益的 収入	医業収益	33,775,862	35,518,917	1,743,055	105.2%
	入院収益	23,222,968	24,892,319	1,669,351	107.2%
	外来収益	9,751,043	9,789,480	38,437	100.4%
	その他医業収益	801,851	837,118	35,267	104.4%
	医業外収益 (うち一般会計繰入金)	8,568,845 (6,631,343)	8,861,118 (6,790,079)	292,273 158,736	103.4% 102.4%
	特別利益	33,731	12,415	△21,316	36.8%
	計	42,378,438	44,392,450	2,014,012	104.8%
収益的 支出	医業費用	44,796,900	47,271,169	2,474,269	105.5%
	給与費	23,393,502	24,436,934	1,043,432	104.5%
	材料費	10,169,533	10,943,998	774,465	107.6%
	経費	8,190,224	8,656,210	465,986	105.7%
	その他医業費用	3,043,641	3,234,027	190,386	106.3%
	医業外費用	1,204,402	1,294,398	89,996	107.5%
	特別損失	40,206	297,909	257,703	741.0%
予備費	2,000	2,000	0	100.0%	
計	46,043,508	48,865,476	2,821,968	106.1%	
総収支	△3,665,070	△4,473,026	△807,956	122.0%	
経常収支	△3,656,595	△4,185,532	△528,937	114.5%	

表 3 資本的収支予算

		令和 7 年度当初 (A)	令和 8 年度当初 (B)	前年度対比 (B - A)	前年度対比 (B / A)
資本的 収入	企業債	2,180,400	4,830,800	2,650,400	221.6%
	出資金	123,582	46,845	△76,737	37.9%
	負担金	1,777,756	1,867,028	89,272	105.0%
	その他資本的収入	103,140	26,918	△76,222	26.1%
計	4,184,878	6,771,591	2,586,713	161.8%	
資本的 支出	建設改良費	2,347,168	4,931,215	2,584,047	210.1%
	資産工事費	285,906	270,877	△15,029	94.7%
	資産購入費	2,029,954	4,630,282	2,600,328	228.1%
	リース資産購入費	31,308	30,056	△1,252	96.0%
	企業債償還金	3,256,438	3,294,026	37,588	101.2%
計	5,603,606	8,225,241	2,621,635	146.8%	

(1) 県立病院の役割を踏まえた医療の提供

1 安全で質の高い医療の提供

1,067,049 千円

① 医療機器等の整備

更新・整備を行う主な医療機器



中央病院
デジタルX線TVシステム（現状）



新庄病院
脳神経外科手術用顕微鏡（現状）



河北病院
高周波手術装置（現状）

② 病院の施設、設備の計画的な改修

改修を行う主な施設・設備



中央病院 発電設備（現状）



中央病院 熱源・空調設備（現状）

2 大学、地域の医療機関等との連携の推進

363,964 千円

① 他医療機関や介護保険施設等との連携強化による入退院の支援

医療・介護・福祉に関する各種相談機能を備えた窓口を運営するとともに地域の医療機関や介護保険施設と連携を強化し、円滑な入退院を支援する。



② 河北病院地域医療連携ステーションによる在宅医療等の推進

河北病院内に設置した「地域医療連携ステーション」を窓口として、訪問診療等の在宅医療の充実を図る。



3 働き方改革への対応

21,913千円

① 中央病院におけるスマートフォン活用による病棟業務の効率化【一部新規】

スマートフォンと電子カルテの連携により、スマートフォンから医療情報の参照を可能にするとともに、メッセージアプリによる連絡のタイムロス縮減等、スマートフォンの多機能性を活かした病棟業務の効率化を図る。



② 離床センサー付き電動ベッドの活用や測定機器の連携による業務の効率化【一部新規】

各病院において、患者の起き上がりや離床などの状態を検知することができる離床センサー付き電動ベッドを活用し、患者の転倒・転落リスクに対して、より少ない労力で対応ができるようにする。また、病棟などで使用する血圧計や血中酸素飽和度測定器の測定結果を電子カルテと連携することにより、入力業務の軽減を図るとともに、入力ミスなどのヒューマンエラーを防止する。

4 総合医療情報システムの更新による効率的運用及びデジタル化の推進

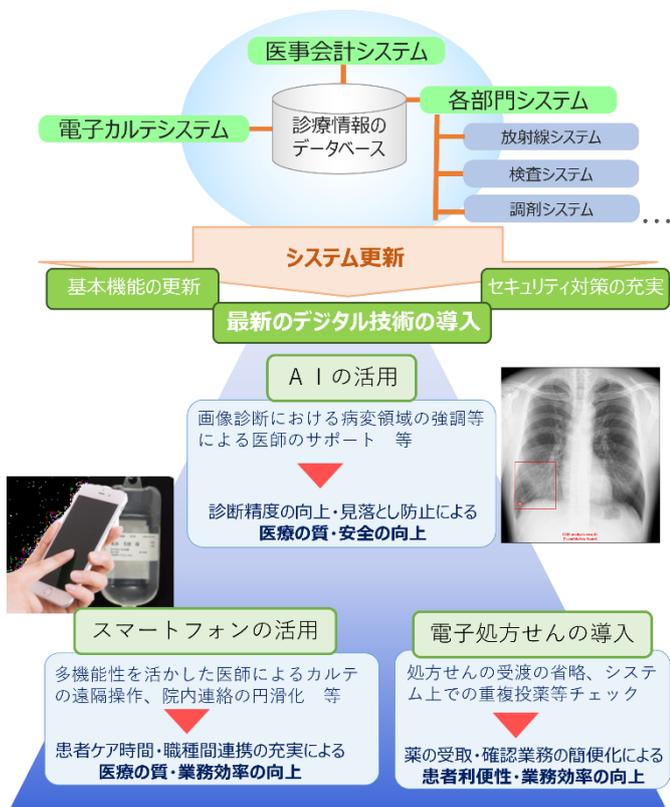
4,016,352千円

○ 中央病院、新庄病院及びこころの医療センターにおける総合医療情報システムの更新【一部新規】

中央病院、新庄病院において稼働開始に向けてシステム構築、業務の設計を実施する。中央病院については11月、新庄病院については12月に稼働。

こころの医療センターは、令和8～9年度の債務負担行為により、令和9年度の新システム稼働に向けて、仕様の検討や事業者の選定を行う。

また、更新にあわせて、AIやスマートフォンの活用、電子処方せんへの対応など、最新のデジタル技術を導入し、医療の質と患者利便性の向上、業務の効率化を図る。



(2) 安定的な運営基盤を実現する経営の改善

5 医療を支える人材の確保

342,708 千円

① 人材確保に向けたPR動画の活用

受験者確保に向け、県立病院で働く姿を具体的にイメージできる動画をSNS等で発信する。



② 医療従事者確保対策

将来の医療を担う臨床研修医の確保に向け、積極的なPR活動を実施する。



6 高度、専門医療を担う人材の育成

225,000 千円

○ 認定看護師及び専門看護師の育成

高度・専門化する医療現場において、熟練した技術や知識を発揮する職員として、認定看護師、専門看護師の育成を図る。



7 安定した収益の確保及び医業費用の効率化

25,098 千円

① 経営健全化ワーキングチームによる取組みの推進

収益確保、費用縮減を効率的に進めるため、各病院の事務局長等で構成する経営健全化ワーキングチームにおいて、診療報酬改定への的確な対応等あらゆる取組みを実施する。

② 経営コンサルティング業務の効率的活用

- ・各県立病院の経営コンサルティング業務の一括化

薬品等の調達や病床稼働率向上等に関するコンサルティング業務委託を一括化し、効率的な支援につなげるとともに、取組み効果の病院全体への波及を図る。

- ・他医療機関との連携推進による材料価格適正化の取組みの実施【一部新規】

物価高騰等により、他医療機関も経営がひっ迫する中、調達業務における課題を共有し、適正価格での医療材料等購入に向けて、共同価格交渉を実施する。

8 個人医業未収金対策の強化

7,730 千円

① 入院時連帯保証人代行制度の運用

全県立病院において、入院の際に必要な連帯保証人を保証事業会社が代行する制度を運用する。

② 職員向け未収金対策研修の実施

収納業務を担う現場の職員を中心に、病院全体の未収金対策に関する対応力の向上を図るため、研修会を実施する。

9 事務部門の強化

470,942 千円

○ 人材育成方針に基づく病院経営職員の計画的な育成【一部新規】

令和7年度に策定した人材育成方針に基づき、「病院経営職員」の資格取得支援及び研修を拡充し、病院経営の各種課題に的確に対応できる人材を計画的に育成する。



(3) 新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組

10 新興感染症等の感染拡大時等に備えた平時からの取組 2,899 千円

○ 感染管理認定看護師等の感染症対応専門人材の育成

感染管理認定看護師や医療機器の使用に必要な医療スタッフ等、感染症対応専門人材の計画的に育成する。